

中期経営計画「リ・バイタライズ2022」について

当社グループは、中期経営計画について、経営環境の変化や対処すべき課題等を踏まえて、「リ・バイタライズ2020」を見直し、「リ・バイタライズ2022」として、目標とする経営数値を設定し、施策を進めております。

前半2年間の成果と今後の課題

- 前半2年間(2019年5月期～2020年5月期)は採算の改善に注力し、利益目標やROE改善等、所期する成果を達成
- 受注活動が、新型コロナウイルス感染症の影響を受けはじめたことにより、今後の売上拡大に課題

経営環境の変化

- 新型コロナウイルス感染症再拡大の懸念による国内外の経済状況の不透明感
一方で、製造業の設備投資や中国における高速鉄道・都市交通関連の需要に回復の兆し
- 脱炭素社会実現に向けた取組み本格化/DX(デジタルトランスフォーメーション)の進展
→社会インフラ整備や地球環境保全に深く関わる当社事業が貢献できる領域はさらに拡大

後半2年間の位置付け

- 後半2年間(2021年5月期～2022年5月期)を「成長を遂げる期間」から「稼ぐ力を蓄積し成長軌道に戻す期間」に見直し
- 当初目標「売上高470億円超、営業利益20億円、ROE5%確保」を次期中期経営計画期間において2年以内に達成するための基盤を整備

経営数値目標(連結)

(単位:億円)

	リ・バイタライズ2020		リ・バイタライズ2022		
	2019年5月期 (実績)	2020年5月期 (実績)	2021年5月期 (実績)	2022年5月期 (業績予想)	2022年5月期 (中期経営計画見直し)
全社					
売上高	411.7	390.7	331.4	340.0	360.0
営業利益 (営業利益率)	5.5 (1.4%)	10.6 (2.7%)	4.2 (1.3%)	4.5 (1.3%)	6.0 (1.7%)
経常利益	4.9	12.0	7.5	7.0	8.0
純利益	6.9	10.8	9.7	8.0	7.0
持分法投資利益	0.1	△0.3	△0.0	1.7	1.0
ROE	2.7%	4.4%	4.1%	3.3%	3.0%
配当性向	39.9%	24.8%	27.4%	33.5%	30.0%
セグメント売上高					
交通事業	272.3	242.6	215.2	205.0	220.0
産業事業	123.3	130.2	105.4	127.0	130.0
情報機器事業	15.8	17.7	10.6	8.0	10.0

基本方針と主要施策

- これまでの7つの基本方針は継続
- 経営環境の変化への対応等を踏まえ、各方針における主要施策を見直し

今回、追加・見直しをした主な施策

新型コロナウイルス感染症影響への対応

- コロナ禍にも対応できるBCPの確立
- 営業利益を意識した事業採算の改善
- 管理・営業・工場が一体の固定費の削減

脱炭素社会の実現/DXの進展への対応

- 脱炭素社会の実現に貢献する製品開発と早期市場投入
- 自動車の電動化、自動運転に資する試験装置開発の推進
- 産業用モータ中国市場への展開
- IoT技術のメンテナンス分野への活用推進
- ワイヤレス給電技術の早期製品化
- エネルギー効率を意識した生産方法の検討

SDGsへの対応

- サステナビリティ方針とロードマップの制定

※基本方針と主要施策の詳細は[当社HPのIRリリース](#)をご覧ください。

2

サステナビリティ方針の制定について

当社グループは、SDGs(持続可能な開発目標)への取組みを重要な経営課題と位置づけ、その具体的な取組みの指針としてサステナビリティ方針を制定しました。

基本的な考え方

当社グループは、経営理念において社会への貢献を掲げ、環境理念において重要課題として地球環境保全への取組みを掲げております。これらの理念を実現し、社会の持続的な発展に貢献するための取組みの指針としてサステナビリティ方針を制定しました。

当社グループの経営理念、環境理念、スローガンを基本とし、当社の取組みとSDGsの実現とのかかわりを、「製品・サービスにおける取組み」、「生産活動における取組み」、「人と地域を大切にする取組み」の3つの視点から整理し、当社グループの事業や活動が生み出す様々な影響を評価しながら、今後具体的な取組み目標をロードマップとして策定して進めてまいります。



企業理念

経営理念

東洋電機グループは下記の経営理念を掲げ実践し社業を発展させ株主及び関係者各位の付託と理解に応え社員と喜びを共にする

- 倫理を重んじ社会・顧客に貢献する
- 進取創造の気風を養い未来に挑戦する
- 品質第一に徹し信用を高める

環境理念

東洋電機グループは、地球環境保全への取組みを重要課題に掲げ、持続可能な社会の発展に貢献します。

<行動指針>

- 「地球と人に優しい未来技術」により地球環境への負荷に配慮した製品およびサービスを提供していきます。
1. 環境に関する法規制などの要求事項を遵守します。
 2. 製品の企画・開発・設計・製造・販売・使用および廃棄の全てのライフサイクル段階で、エネルギー消費の削減など環境負荷の低減に努めます。
 3. 地球環境保全活動を継続して推進するシステムを確立し、実行します。
 4. グループ内の啓発を通して、一人ひとりの意識向上を図ります。

当社グループ企業スローガン

～心と技術を未来に～ Our Heart and Technology for the Future

具体的な取組み

製品・サービスにおける取組み

- 小水力発電等の脱炭素エネルギー供給
- 鉄道やEVなど省エネな移動機関の普及
- 電気機器の効率化・蓄電システムの普及
- 交通機関バリアフリー化による安全性向上 等

生産活動における取組み

- 生産使用エネルギー量の削減
- 太陽光発電、使用エネルギー脱炭素化検討
- 材料・製品輸送時のエネルギー削減
- 生産現場、事業所でのリサイクルの取組み 等



人と地域を大切にする取組み

- 大学寄附講座、社会見学の受入など学校教育支援
- ジェンダー平等取組み、女性管理職登用推進
- 地域環境を守り、自然保護に貢献 等

